



# かえで

夢と笑顔と「ありがとう」が  
あふれる 上里東小学校  
令和3年 3月 1日  
第 19号



寒さ厳しい冬も、いつしか春を迎えます。四季の移り変わりが、近年はっきりしなくなったような気がします。また、新型コロナウイルス感染の状況が気になり、季節の移り変わりを楽しむ余裕さえなくなっているのかもしれませんが。しかし、春は一步一步確実に近づいています。

子供たちは、今の学年の課程を修了し、一つ上の学年に進学・進級します。3学期のまとめ、そして一年間のまとめでもある3月。子供たちが、諸活動に夢(目標・めあて)

を持ち、笑顔でがんばれるよう、そして「ありがとう」の感謝の気持ちを持って生活できるよう全職員で取り組んでまいります。年度の締めくくりがしっかりとできますよう皆様の御支援をよろしくお願いいたします。

## 忍耐力 (我慢する力)

もうすぐタンポポの花が、あちらこちらに見られるようになります。タンポポは、どんなにかんかん照りでも、どんなに人に踏まれても、どんなに寒さが厳しくても、葉を取られたり茎を折られたりしても決して枯れたりしません。タンポポは、どんなにつらい状況になろうとも、じっと我慢して花を咲かせます。タンポポは、とても生命力が強い植物です。とても我慢強い植物です。その秘密はどこにあるのかというと、根っこにあります。タンポポは地中深くしっかりと根を張っているから我慢強く生きられるのです。(根の長さが1mにもなるタンポポもあるそうです。)



子供たちは、コロナ禍にあり、いろいろな制約の中で一年間、学校生活を送ってきました。「3密」を避ける、マスクの着用、手洗い・消毒、黙って給食を食べる等、今でも思うように勉強したり、運動したり、友達と遊んだりすることができない状況にありますが、本当によく我慢をしているなと思います。ストレスも溜まっていることと思いますが、子供たち一人一人がしっかりと根を張り、根を伸ばしながら、「今は我慢のとき」とがんばってくれました。我慢することで人間の根っこが伸びるのではないのでしょうか。子供たち一人一人が人間の根っこを伸ばした一年だったと思います。

**校長賞** 4月から取り組んできた家庭学習ノート(自学ノート)が、全校で1,907冊、1冊でも提出した児童369名(ともに2月24日現在)となり、昨年度の1,686冊を大きく上回りました。児童の努力とともに、御家庭の協力をいただき、誠にありがとうございます。

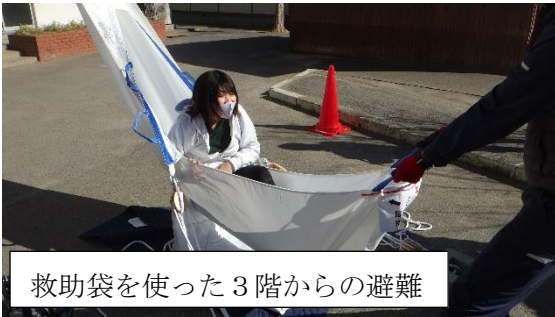
### 「積小為大」賞

- |   |  |
|---|--|
| <p>～20冊達成～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年1組 飯田 愛深</li> <li>○ 6年1組 新井 幸奈</li> <li>○ 5年2組 関口 結月</li> <li>○ 6年1組 松川 杏花音</li> <li>○ 5年2組 飛永 直人</li> <li>○ 6年2組 坂本 佑斗</li> <li>○ 4年3組 田中 蘭</li> <li>○ 5年1組 高橋 漱大</li> </ul> | <p>～30冊達成～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年1組 飯田 愛深</li> <li>○ 6年1組 新井 幸奈</li> <li>○ 5年2組 飛永 直人</li> <li>○ 5年2組 関口 結月</li> <li>○ 6年1組 松川 杏花音</li> </ul> |
|---|--|

# 東日本大震災から

## 10年

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災。あれから10年が経とうとしています。あの日、自分は何をしていたか、いまでも鮮明に思い出すことができます。それくらい大きな衝撃を受けたものです。当時は、当たり前前の生活が当たり前前にできない大変さを多くの人が身に染みて感じたのではないのでしょうか。「ガソリンスタンドへ行っても、ガソリンが十分に入れられない」「計画停電で電気が使えない」「電車の本数が少ない」等、コロナ禍の今とはまた違った制約を受けての生活を余儀なくされました。コロナ禍ではありますが、今の生活のありがたさに感謝し、身の回りに潜む危険について改めて考える必要があるかと思えます。



「ガソリンスタンドへ行っても、ガソリンが十分に入れられない」「計画停電で電気が使えない」「電車の本数が少ない」等、コロナ禍の今とはまた違った制約を受けての生活を余儀なくされました。コロナ禍ではありますが、今の生活のありがたさに感謝し、身の回りに潜む危険について改めて考える必要があるかと思えます。



2月13日(土) 23:08 大きな地震がありました。いつ・どこで・どんな災害が起きるか分かりません。できることは、準備をどれだけ万全にできるかです。物の準備・心の準備が大切です。

(本校 大地震発生時対応マニュアルより)

児童の状況	対応等(震度5弱以上の地震発生を想定)
学校にいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業を中止→児童を安全な場所に避難させる。</li> <li>○「児童の引き渡しを行います」マチコミメール配信</li> <li>○保護者等へ引き渡し(徒歩による迎えをお願いします。)</li> <li>※メール配信ができない甚大な被害状況の場合は、保護者の判断で迎えに来る。</li> </ul>
登下校中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が登下校中の児童を迎えに行く。</li> <li>○学校にいる児童については、保護者等へ引き渡す。</li> <li>○学校職員も通学路上の児童を確認に行く。</li> </ul>
登校前	○通学路及び校舎等の施設設備の安全確認のため、臨時休業とする。

## 13日は開校記念日

1971年(昭和46年)、上越新幹線の建設路線が発表されました。発表された路線は、七本木小学校を二分するものでした。明治6年創立以来90有余年の歴史を持つ七小を横断することは、町としても反対をしたのですが認められませんでした。新幹線に加えて、関越自動車道の建設により、通学区が3地区に分断されることになりました。また、新幹線や自動車道の騒音、振動、排気ガス等の公害問題、移転地の決定など様々な課題が山積されました。それらの課題を何度も何度も話し合うことで解決していきました。1976年(昭和51年)臨時議会で学校設置条例を可決し、仮称北小を上里東小学校、仮称南小を七本木小学校として設置しました。同年3月13日、七本木集会所にて合同竣工式を行い、4月から授業が開始されました。多くの人々の願いや思い、苦勞、協力のもとに開校しました。

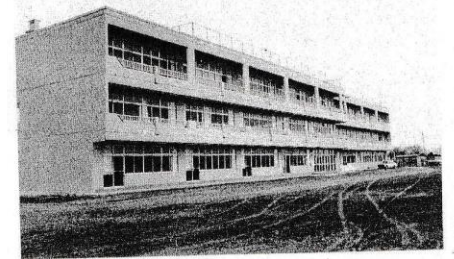


写真4-24 新築された上里東小学校(北校)校舎

